

◎人類学者が見た〈絶景〉を珠玉のエッセイで

ザ・フィールドワーク

129人のおどろき・とまどい・よろこびから広がる世界

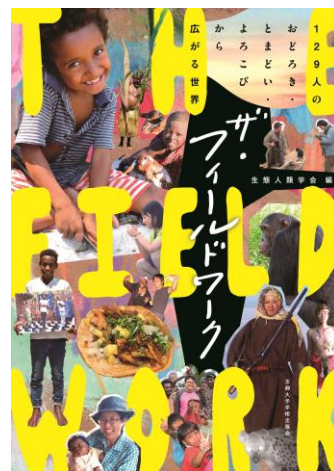
生態人類学会 編

B5判並製 296頁 定価：本体2000円+税 ISBN978-4-8140-0586-4 C0039

刊行予定：2025年4月上旬 条件：新刊委託

読者対象：専門 おすすめの棚：生態人類学 おすすめ度：★★★☆☆

「人とは何だろう？」人間が地球のシステムを大きく変えてしまう今、極北や高地から熱帯そして島々まで世界中を飛び回って環境と人との関わりの最前線から人間社会のあり方を考えている生態人類学者たち。ではその日常とはどのようなものなのか？ 学術書や論文では書けない、発見、悲哀、悦楽、恐怖など、現場にしかない〈絶景〉を、129人の生態人類学者が初めて語る。



社会性の起原と進化 始論

種と性を越えた比較研究のために

河合香吏 編

A5判並製 624頁 定価：本体6200円+税

ISBN978-4-8140-0585-7 C3039

刊行予定：2025年4月上旬 条件：新刊委託

読者対象：専門

おすすめ度：★★★☆☆

おすすめ度：★★★☆☆

◎50年を経た人類社会の進化研究の新しい旅立ち

社会的動物はヒト以外にもたくさんいるが、満員電車のように狭い空間で関わりのない他個体と長時間を過ごすことに耐えられるのはヒト以外にいない。この独特な集団形成を可能にしたものは何か？ そして「ヒトにしかない社会性」とは何なのか？ 50年以上も人類社会の進化を考えてきた著者たちが、新たな議論のスタート地点に立つ。

◆河合香吏：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授

環境人間学と地域

フューチャー風土

ひと、いきもの、思考する機械が共存する未来

寺田匡宏 編

A5判上製 700頁 定価：本体9000円+税

ISBN978-4-8140-0583-3 C3336

刊行予定：2025年4月上旬 条件：新刊委託

読者対象：専門

おすすめ度：★★★☆☆

おすすめ度：★★★☆☆

◎未来を創る「風土」論の革新

地球の未来を見つめるための鍵は、「風土」である。和辻哲郎やオギュスタン・ベルクが深化させた「風土」概念を拡張し、過去の枠を超えて、人間、生き物、AIを含む多元的主体が共存する地球の未来像を探る。人間中心の視点を離れ新たな地球環境のビジョンを構築するための、人文学、情報学、工学の専門家たちによる挑戦。

◆寺田匡宏：総合地球環境学研究所客員教授

注文書 2月号②

お申込みは→ 京都大学学術出版会 FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	ザ・フィールドワーク 【3/17 締切】 ISBN 978-4-8140-0586-4 C0039 定価：本体 2000 円+税
	ご担当		
番線印	冊	新刊委託指定	社会性の起原と進化 始論 【3/17 締切】 ISBN 978-4-8140-0585-7 C3039 定価：本体 6200 円+税
	ご担当		
番線印	冊	新刊委託指定	【環境人間学と地域】 フューチャー風土 【3/21 締切】 ISBN 978-4-8140-0583-3 C3336 定価：本体 9000 円+税
	ご担当		